

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		411-03-07	
事務事業名		(仮称)西部こども未来館整備事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線1232	
担当部署名		(仮称)西部こども園設立準備室		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち		款	3	民生費
	施策	1	子育て支援		項	2	児童福祉費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		目	10	こども園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	(仮称)西部こども未来館					
	目的 (どうしたいか)	質の高い総合的な就学前教育・保育を提供できる環境を整備する。					
	手段 (事業内容)	丹比幼稚園・恵我之荘幼稚園・向野保育園を一体化した幼保連携型認定こども園を新設する。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 (債務負担分)監理委託料 7,700(千円) (債務負担分)施設整備費 268,800(千円) 【特定財源】 学校施設環境改善交付金
当初予算額	事業費	98,281	343,600	601,891	
	事業費	478,866	276,500	—	
決算額	特定 財源等	0	113,394	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	定例会議の実施回数	単位	回
指標の説明	(仮称)西部こども未来館整備工事に係る定例会議等		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	2	45	19
実績	2	45	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	(仮称)西部こども未来館整備の進捗率(%)	単位	%
指標の説明	こども園施設整備工事の進捗率(%)		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	15	65	100
実績	10	60	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 幼保連携型認定こども園の整備を行う事業の2カ年目であり、工事の竣工及び施設の開園に向けて、引き続き実施する必要がある。		(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

						事務事業コード	411-03-08
事務事業名		(仮称)西部こども未来館設立準備事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先			
担当部署名		(仮称)西部こども園設立準備室		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち		款	3	民生費
	施策	1	子育て支援		項	2	児童福祉費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援		目	10	こども園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	(仮称)西部こども未来館					
	目的 (どうしたいか)	質の高い就学前教育・保育及び子育て支援を総合的に提供する。					
	手段 (事業内容)	運営の方針やカリキュラム等、園の運用方法について検討しながら、開設に向けた準備・調整を行う。					

予算・決算額		(単位：千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 【特定財源】	
当初予算額	事業費	0	0	0		
決算額	事業費	0	0	—		
	特定 財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	カリキュラム会議等開催	単位	回
指標の説明	こども園化に向けてのカリキュラム会議等、西部こども園設立準備のための会議		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	10	10	21
実績	0	10	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	カリキュラム等の完成度合い	単位	%
指標の説明	運営の方針やカリキュラム等の作成にかかる完成に向けた進捗率		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	30	60	100
実績	40	60	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) (仮称)西部こども未来館開園を円滑に行うための事業であり、当該施設が令和4年4月開園予定であることから、令和3年度末まで継続する必要がある。	今後の改善内容 (令和3年度以後の事業実施への改善内容)